



国民春闘共闘

第21号

2016年4月1日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016春闘・第3回賃上げ集計

加重平均 2.07% 賃金底上げ前進

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は3月31日、2016年春闘における第3回目の賃金改定集計を行い、18単産・部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2016年	2015年(同期)
登録組合数	828	838
回答組合数	314 (37.9%)	284 (33.9%)
うち金額・率回答	247	215
うち「定昇のみ」など 言葉による回答	67	69
うち上積み獲得	41 (13.1%)	39 (13.7%)
うち妥結組合数	51 (16.2%)	31 (10.9%)

<回答内容>

集計方法&対象		2016年	2015年(同期)	(前年同期比)
単純平均	額(円)	5,196	5,661	-465
	率(%)	1.93	1.99	-0.06
加重平均	額(円)	5,745	5,585	-160
	率(%)	2.07	1.82	+0.25
	組合員数(人)	58,845	54,106	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況(金額での比較)>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	(前年超)	(同 額)
218	86 (39.5%)	58	28

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	218	5,551	5,965	-414
	率(%)	140	1.96	2.10	-0.14

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇のみ」など言葉による回答は計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

第3回集計には、あらたに全労連・全国一般の御売・小売から報告が寄せられ18単産・部会での集計となりました。

3月31日現在、回答を引き出したのは登録828組合のうち37.9%にあたる314組合となっています。3月29日から31日の「交渉集中ゾーン」で積極的な回答引き出しが図られ、前回集計（3月24日現在：266組合・32.1%）から48組合・5.8%増加しています。前年同期（2015年3月27日現在：284組合・33.9%）との比較では30組合・4%上回っています。

回答を引き出した組合のうち妥結もしくは妥結方向となっているのは51組合で、妥結率は16.2%となっています。前回調査（28組合・10.5%）から23組合・5.7%上昇し、前年同期（31組合・10.9%）を20組合・5.3%上回っています。

全体の回答内容

有額回答を引き出した247組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,196円・1.93%で、加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,745円・2.07%となっています。

前回調査と比較すると、単純平均12円減・+0.02%、加重平均531円増・+0.19%となり、前年同期との比較では、単純平均465円減・-0.06%、加重平均160円減・+0.25%となっています。

規模別にみると、「1000人以上」が単純平均5,742円・2.18%、加重平均6,130円・2.38%となっており、大規模組合での奮闘が加重平均を引き上げている状況が伺えます。

一方で、規模別での単純平均の前年同期比をみると「29人以下」979円減・-0.19%、「30~99人」431円減・-0.11%、「100~299人」308円減・-0.11%、「300~999人」41円増・+0.16%、「1000人以上」506円増・+0.24%となっており、中小組合で厳しい回答状況となっています。

回答が出揃っていない状況ですが、比較可能な15単産・部会での単純平均額の前年同期比をみると、全農協労連、合同繊維、生協労連、出版労連、日本医労連の5単産がプラス、建設関連労連、JMITU、化学一般労連、建交労・製造、建交労・運輸、建交労・鉄道、全印総連、民放労連、地方登録組合、地方マスコミの10単産・部会がマイナスとなっています。

経営側が大手企業での回答状況を横目に、業績不振や先行き不安も口実にして、昨年よりも回答水準を引き下げているとの報告も寄せられており、春闘後半戦の取り組みを一層強化することが重要となっています。

そうした中、JMITUの4組合が4次回答を引き出したのをはじめ、粘り強い交渉で前年同期（39組合）を上回る41組合が数字にわたる上積みを獲得しています。

また、出版労連、JMITU、建設関連労連での計10組合が1万円以上、11組合が9,000円台、20組合が8,000円台の回答を引き出しています。回答率ではJMITUでの4.3%を筆頭に77組合が2%以上、うち9組合が3%以上を獲得しています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での前年実績比較が可能な218組合での単純平均額をみると今期は5,551円で前年実績を414円下回っています。率では140組合の単純平均で1.96%と前年実績比-0.14%となってい

ます。集中回答指定日翌日の第1回集計（前年実績比 551 円減・-0.18 ㊦）、第2回集計（同 486 円減・-0.17 ㊦）から引き続き前年実績比微減となっていますが、マイナス幅は縮小してきています。

金額比較可能な 218 組合のうち、前年実績額以上を獲得した組合は 86 組合・39.5%で、前回調査（70 組合・37.7%）から 1.8 ㊦上昇しています。このうち 58 組合は前年実績を越す回答を引き出しています。

多くの組合が前年以上の回答を引き出しながらも、要求に執着して交渉を継続しており、春闘後半戦での更なる追い上げ・上積み獲得が期待されます。

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の賃上げは、建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、民放労連、日本医労連の 7 単産・137 組合から 221 件の成果獲得の報告が寄せられています。前回調査（3月24日現在：118 組合・181 件）から 19 組合・40 件増え、前年同期（2015 年 3 月 27 日現在：102 組合・187 件）を 35 組合・34 件上回っています。

生協労連で 109 件の前進回答を引き出したのをはじめ、日本医労連では前年実績を上回る 65 組合で 82 件の成果を獲得しています。

成果の多くはパートやアルバイトを中心とした時間給で働く仲間の賃金引上げで、6 単産で 155 件の賃金引上げを実現しています。引上げ額の単純平均は 19.9 円（103 組合平均）となっています。

JMITU での時間額 140 円、155 時間換算で月額 21,700 円となる賃上げを実現したのをはじめ、生協労連での 83 円引き上げ（月換算 12,865 円）、日本医労連での 80 円引き上げ（同 12,400 円）などの報告も寄せられています。

日給制では建交労、民放労連、日本医労連で 6 件の成果を獲得し、平均引上げ額は 95 円となっています。

月給制では、5 単産で 42 件の前進回答を引き出し、引上げ額の単純平均は 6,343 円（33 件平均）と前年実績を大きく上回っています。生協労連で一般正規職員よりも低水準の賃金に置かれていた、いわゆる「地域限定職員」の大幅賃上げを実現したほか、建交労や日本医労連などでも高い水準での回答を引き出しています。

再雇用・継続雇用で働く仲間の賃金改善は JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、日本医労連の 5 単産から 19 件の前進回答報告が寄せられています。

そのうち時給制での引上げ獲得は 12 件で、引上げ額は 26.7 円（10 件平均）となっています。月給制は 7 件で、平均 2,051 円の引上げを実現しています。

企業内最低賃金改訂状況

企業内最低賃金協約の締結・改定状況は別表の 7 単産 57 組合から報告が寄せられています。前回調査から生協労連（5 組合増）、日本医労連（4 組合増）、JMITU、化学一般労連、（各 2 組合増）で獲得組合数を伸ばしています。前年同期とは同組合数となっています。

時間額での獲得件数は 39 件、日額では 16 件、月額では 34 件となっています。その他、日本医労連（看護師、ヘルパー）、建交労（大型運転手）では職種別の最低賃金協定も勝ち取っています。

時間額で改訂後の金額揭示のあった 39 組合での平均額は 964 円で、日額は 11 件平均 7,202 円、月額は 18 件平均 164,230 円となっています。

企業内最低賃金要求額を上げたたかう出版労連では月額 220,930 円・時間額 1,503 円を実現したのをはじめ、全 7 組合が国民春闘共闘・統一要求「時間額 1,000 円以上、日額 8,000 円以上、月額 17 万円以上」を上回り、JITU (2 組合)、化学一般労連、全印総連、日本医労連 (各 1 組合) でも統一要求額の水準に達する回答を引き出しています。

春闘後半戦でも、すべての働く人々の賃金底上げを実現し、時給 1,000 円未満の労働者をなくすたたかいをよりいっそう広げていきましょう。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法 暮らしをもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化

<参考> 他団体の賃上げ集計結果

●連合の第 3 回回答集計 (平均賃金方式・4 月 1 日公表) は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	1,812	185.7	6,239	2.09	6,944	2.33
中小共闘	1049	11.1	4,954	2.00	5,185	2.08

※中小共闘は、規模 300 人未満

※単純集計 (一組合あたりでの平均) での公表なし

●連合・第 3 回回答集計 (非正規雇用労働者の賃金引上げ・4 月 1 日公表) は以下のとおりです。

集計対象	時間額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	平均時給	人数(万)	賃上額	平均時給
全組合	128	20.57	999.58	44.3	19.30	934.48

集計対象	月額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	率(参考)	人数(万)	賃上額	率(参考)
全組合	57	4,022	1.99	3.1	4,454	2.22